

土間コン下、ベタ基礎下に木繊維セメント板を提案する理由

弊社は木繊維セメント板の土間床工法を提唱して以来、既に四十数年を経過し、数千件の施工実績がございます。

バリアフリーの要請から、土間床になるケースも多いと思います。

木繊維セメント板（商品名：ストロングボード）の土間床は、

1. 断熱性能が高い。
2. 発泡ポリスチレンよりも圧縮強度が高い。
3. 防湿シートは不要。
4. 木繊維セメント板のフィルター効果が優れている。
コンクリート打設時に、余剰水の一部を下へ脱水して、コンクリートの含水率を減らし、コンクリートの熱容量を小さくします。
それにより、室温に対する床表面温度の追従が良くなり、床表面の結露が防止出来ます。
そして、カラッと乾いた快適な床になります。
土間床の結露防止には、コンクリートの熱容量を小さくする事がポイントで、それには、木繊維セメント板のフィルター効果が大きな役割を果たします。
(ただし、セメントの水和反応に必要な水は十分に残ります。)
また、水セメント比を改善して、緻密な良質のコンクリートになります。
5. 原材料として混入している石灰の殺菌作用により、
 - a. 腐敗菌が繁殖しないので、木繊維セメント板は腐らない。(木毛セメント板との違い)
 - b. 白アリの食害を受けない。
(発泡ポリスチレンは、白アリの侵食により、消滅して無くなる事もあります。)従って、木繊維セメント板「ストロングボード」が一番良いのです、
6. 木繊維セメント板は、毛細管現象が無いので、下からの水分を上へ上げません。
7. 土中の水蒸気は、土間床の建物の下に於いては、年間を通して見れば、上から下へ移動する方が多い。従って、年を経るにつれて床は乾燥して行きます。
8. 長期的には化石化して行く方向の材料ですから、建築物の存在する限りその部位にあって、機能を果たします。
石油化学断熱材の様に、へタったり経年劣化して風化したりしません。
よって、100年建築に対応します。
9. 長年に亘る実績がございますので、安心してお使い頂けます。

以上、土間床に木繊維セメント板（ストロングボード）をお薦めしますので、御社のご設計にご採用下さいませ、何卒よろしくお願い申し上げます。

神戸不燃板工業株式会社

TEL 0794-87-3121

FAX 0794-87-3123